

伊豆新聞

令和3年(2021年)9月12日 (日曜日)

「三島そば、途絶えさせない」

地元NPO 箱根西麓の畑に種まき

NPO法人グラウンドワーク三島は11日、三島市の箱根西麓の畑に「三島そば」の種をまいた。江戸時代に旅人を喜ばせたと言伝えが、残る地元の名物そばで、同NPOは復活を目指して18年前から、箱根西麓の遊休農地で栽培を続けている。

メンバーら5人が約5畝の畑で作業した。畝を整え、専用の機械を使って丁寧に種をまいた。同NPO農業担当の高波大輔さんは「このそばを楽しみに待っていてくれる人がたくさんいる。地元名産のそばを途絶えさせることのないよう、大

切に守っていきたい」と話した。

同NPOによると、

箱根西麓の自然が育てる三島そばは、豊かな味と香り、独特の色味が魅力だという。11月下旬から12月上旬の収穫を見込む。収穫後のそば打ち教室開催や、年越しそば販売を計画している。



畑の畝を整えて三島そばの種をまく参加者
＝三島市の箱根西麓